

定義の例文：

## バリアフリー

バリアフリーのバリアは、英語の”barrier”で「<sup>しょうがい</sup> ;障害」、<sup>しょうへき</sup> ;障壁」を意味し、フリーは”free”で「<sup>そくぼく</sup> ;束縛のない」、<sup>かいほう</sup> ;開放された」を意味する。従って、バリアフリーとは、「障壁、障害を取り<sup>のぞ</sup> ;除いた」という意味になるが、特に「<sup>しんたい</sup> ;身体に障害を持つ人や高齢で身体の不自由な人が社会生活をする上で、行動の<sup>さまた</sup> ;妨げになるものを取り除いた」という意味で使われる。

バリアフリーの具体例としては、足の不自由な人が<sup>ししょう</sup> ;支障なく<sup>のぼ</sup> ;上り<sup>くだ</sup> ;下りできるように<sup>せっち</sup> ;設置された<sup>ちかてつ</sup> ;地下鉄駅のエレベーター、目の不自由な人のために点字で<sup>しじ</sup> ;指示がある<sup>こうしゅう</sup> ;公衆電話機や、<sup>いっぺん</sup> ;一辺に切り<sup>こ</sup> ;込みをいれたテレホンカード、<sup>くるまいす</sup> ;車椅子の人のために<sup>だんさ</sup> ;段差をなくした歩道などを<sup>あ</sup> ;挙げることができる。

日本では、一部の<sup>きぎょう</sup> ;企業がバリアフリーを<sup>めざ</sup> ;目指した<sup>しょうひん</sup> ;商品の<sup>かいはつ</sup> ;開発に力を入れ始めている。しかし、障害を持つ人が自由に行動できる社会にするためには、<sup>せいふ</sup> ;政府も<sup>ちほうじちたい</sup> ;地方自治体も企業も一体となった取り組みが必要である。